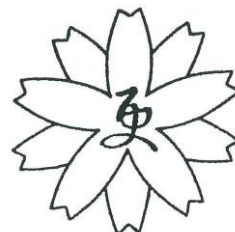


掛川地区 更女会だより

第89号 更女だより

掛川支部担当

平成27年8月発行



あいさつ運動の風を起こそう

会長 中山キクエ

更生保護女性会に入会して3年目の今年。自分には重すぎる役割をいただいてしまい困っております。お引き受けした以上は会員みな様のご協力をいただいて、この会を前に進めていかなくてはと考えております。よろしくお願い致します。

私たちは「社会を明るくする運動」の手助けをすることが大きな仕事の一つです。小さな一例ですが「あいさつ運動」。子供たちの朝夕の登下校の時のあいさつ。始めに声を掛けるのには勇気がいります。「おはよう。気をつけてネ。」「お帰りなさい。おやすみ。さようなら。」。子供たちも始めは恥ずかしそうにしたり、びっくりしたりします。誰でも最初の一声を出すのが大変なんです。でも一度声を出してしまえばもう大丈夫。2回3回と回を重ねれば子供たちからも元気な声で返事が返ります。ひとりひとりが声掛けを始めて地域の皆さんに広がり、声掛け運動の風を起こす原動力になれば良いと思います。自分たちの知らない大人の人が、自分たちのことを心に掛け見守ってくれれば「道から外れそう」な芽を摘んでやることになればいいと考えます。

更生保護女性会から一般の方へ大きなあいさつ運動の輪が広がり、明るく生きられる社会になるよう努力し、なお一層の会員みな様の御協力をお願い致します。

目次

- p1 あいさつ運動の風を起こそう
(中山キクエ)
- p2 サスティナブル
・持続可能な組織を考える・
(戸塚久美子)
- p3 社会を明るくする運動に
参加して
(山岸文代・金原義子・山崎富美子)
- p4 新会員研修で学んだこと
(鈴木せつ子・林 知余)
- p5 編集後記
(中山暁子・塩澤歌子・
落合満江・小澤悦子)



社会を明るくする運動
準備の様子(6/29)

掛川市福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 中山キクエ

TEL:090-4790-4064

「サステイナブル・・持続可能な組織を考える・・」

前会長 戸塚久美子

掛川地区更女会は会員や物故者の方々に支えられて昨年 50 周年を迎えました。皆様のおかげで、記念の茶会の開催、インターネット上に過去から現在までの記録管理と 50 年への思いを掲載し、活動の可視化と持続可能な体制強化を図る記念活動を展開致しました。

50 年という長い時間の経過で、更女会を取り巻く社会環境は大きく変化しています。最も大きなものを 2 つ上げますと、1 つは、専業主婦と働く女性の人口は大きく逆転し、地域内で日中の無償ボランティアを担って頂く人々の減少と年齢層の固定化が進んでいること、もう 1 つは今日の法改正に伴う「社会貢献活動の義務付け」等、直接的支援活動拡大という更生保護政策の大転換です。これらの変化を受け止めて次世代へ活動を継続していくため、僅かばかりではありますが組織運営のあり方に気配りを致しました。そのキーワードは持続可能（サステイナブル）です。

例えば、

①市の補助金を受けるに相応しい団体であるためには、とりわけ会計の透明性は重要です。領収書の添付はもとより、活動報告書に活動内容の具体を記載し会計処理を徹底しました。

②最大で最高のパートナーである保護司会との連携は大変重要であり、作文審査会や地区更生保護大会共催、これから始まる対象者との社会貢献活動等出来る協働活動は大いにさせて頂きつつも、女性としての高額な費用負担や宿泊が伴う視察には自由参加という形でご容赦頂きました。各支部の理事輩出が困難にならない為の負担軽減を図るよう、特別職の国家公務員の保護司様とは立場も組織運営も異なる任意団体として関わり方を模索致しました。

③先輩会員方がどなたも申されることに、「私達が努力しても活動が見えない、更女が知られていない」という言葉。更女会はおっしゃる通り一般によく知られていません。高校生へ「人権教育冠講座＝命が大事・家庭が大事プロジェクト」を始めたことは、学習の場を提供し「未来の親育ち」を支援すると同時に更女会を可視化することになりました。

このような変化に対応することは組織として大事ですが、それよりまして重要なことは更生保護の心を育み伝える精神。脈々と繋ぎ変えてはならない不易なものです。戦後 70 年「母性の徳」なしに日本の平和は創られなかったはずです。だれもが幸せに生きられる為、地域社会で人々を慈しむことのできる更生保護の心をもつ女性達の輪と和が拡大されますよう益々更女会に期待しております。結びに 2 年間ご一緒に活動の中核を担って下さった理事各位と会員の皆様に心から感謝を申し上げます。



H26 年度更女会総会



H26 更女会茶会

—社会を明るくする運動に参加して—

大東 山岸文代



社明運動街頭キャンペーン開会式

7月1日、第65回社会を明るくする運動に保護司さんと雨の中、広報車に乗りマイクで呼びかけました。1人でも多くの人にこの運動を知っていただき、地域社会が見守り、犯罪や非行防止につながっていくように訴えました。市民でありながら初めての地域を巡回し、窓に流れる雨粒を見て犯罪や非行が消えていくように願いました。今年はキャラクターのホゴちゃんと黄色い羽根バッジもあり、記念の日となりました。

大須賀 金原義子

私は今回7月1日に行われた「社会を明るくする運動」に初めて参加させてもらいました。ちょうど梅雨の時期でしたので、当日の天候が気になっていましたが、予報通りの激しい雨降りになってしまいました。その中午前中は掛川地区、午後は大須賀地区を広報車で回りました。夕方はイオンタウンで街頭キャンペーンを行い、大勢の方に声かけができました。

私は現在1人住まいですが、近所には4世代の家庭があります。下は1才の子どもさんから米寿を迎えたおばあちゃんまで7人家族です。毎朝小学2年生のお兄ちゃんの「いってきます」という元気のいい声が聞こえてきます。私も思わず「いってらっしゃい」と手を振ってしまいます。幸せな時間です。でもこうした明るい家庭ばかりではなく、不幸にも非行・いじめ等に悩んでいる方もいます。明るく住みよいまちづくりが出来るよう、人と人の関わり合いを大切にしていきたいと思っています。



啓発物品を配る様子(市内商業施設にて)

掛川 山崎富美子

6月29日午後、保護司や民生委員の方々と共に啓発運動の冊子、うちわ等の袋詰め作業。7月1日8:45、生憎の土砂降りの中、市役所の広報車に乗って用意された原稿をマイクに向かって読み上げます。声がどこまでどんな風に届いていたのか見当も付きませんが、「今こうしている間にも苦しんでいる・悩んでいるあなたの役に立ちたい」「あなたの幸福を願っている人間がここにもいるんですよ」との気持ちを込めてがんばって読ませて頂きました。途中気がつくと人家が無く、むしろ「猪さん達、人間の作物を横取りしないで！」とお願いした方がいいような森の中の道を走っていた時もありました。12:00無事に市役所に戻り解散。そして夕方5時過ぎにアピタにて啓発運動のグッズの配布。直接チラシを渡すことでやりがいを感じました。

今世の中ではいじめ・児童虐待・詐欺等不幸な事件が後を絶ちません。折角生まれ育てられた命です。ある話では、1人が生まれくるのに十代まで遡り親またその親・親…と数えると、1024人の命が関わっているとのこと。1つの命が誕生するために、切れ目のない命の連結があり縁があるのです。皆で助け合っこの貴重な命を守るのが、今生きている人間に課された使命であろうと私は思います。それにはまず自分自身が人とのつながりを大事にし、思いやりのある優しい心にならなければと考えます。悲しい思いをする人が出ないように、事件の防止に役立つこと、又保護司さん達等の支援活動の輪(和)のなかで協働させて頂くことが更女の大事な役割であるということ、この一連の運動に参加させて頂いて初めて感じました。小さな善意の種がやがて明るい社会、そしていつの日か世界という実になることを願っています。

—新会員研修で学んだこと—

更生保護って

大東 鈴木せつ子

「コーセーホゴ○△□に入らない？」

「なあに、それ。」

「刑務所に行ったり、少年院の卒業式に出たり。」

「へえ、そんなことできるの？」

三月に先輩会員に誘われ、半分興味本位といういい加減な動機で入った更生保護女性会。世の中にこういう会があるのだということを初めて知った。そして新会員研修会。会長さんや保護観察所長さんのお話を聞き、午後のグループ討議。様々な発言があった。「今日のお話はと

ても重くて、私なんかこんな重大な仕事ができるのかと不安になりました。」…なんてこの方は素直な真面目な人なんだろう。「実際に家の近所に、刑務所から戻ってきた人がいて、いまだに暴力を振るうんですよ。地域で暖かく受け入れるって言うけれど…」…ああ、現実には理想通りにはいかないものなんだ。

殺人の半数は家族内とのこと。再犯率は6割とか。刑期を終えて社会に出てきても、住む所がなかったり、働きたくても雇ってもらえなかったりする。そのうちにお金に困る。犯罪者の立ち直りには、地域住民の理解と協力が必要という。しかし、それよりも重要なのは、地域から犯罪者を出さないということ。ふうむ、さて私にできることは…。まずは、隣のはにかみやの健ちゃんに、「おっはよう！」と声をかけることからだ。



更女ってどんな活動？

大須賀 林 知余



大変歴史ある更生保護女性会。名前だけということでお返事しましたが、今更私に何ができるのかしらと思って研修会に出席しました。1番の講話。堀靖子会長様の優しいお話で、会員に当てられたお役目は大変なことのようには思いました。2番の保護観察所長様のお話もよくわかりましたが、果たして私ができるのか…、難しいように感じました。また、ビデオを見て感心致しました。歴史を感じました。刑務所矯正展には参加しようと思っています。

私の住んでいる所は4月や9月に、小規模ではありますが文化展・文化祭が行われるなど、環境も良く非行は少ない地域のように思います。ですがテレビや新聞では少年の犯罪が残念ながら多いです。犯罪者が少ない街づくりができるよう、貢献していきたいです。

～編集後記～



- ・広報車 明るい社会が こだまする
- ・更生を マイクを通して 訴える
- ・築こうよ 犯罪非行の ない社会

2年間どうぞよろしくお願いします。

落合満江

地区の役員になると同時に更女の研修を受けて、もう二十年余になります。この間多くの会員のみな様と共に、各面でいろいろな事を学ぶことが出来ました。今は歳を重ねて行動が緩んではいますが、みな様の心の優しさに励まされ、地域でまだ役員でいられることは幸せだと思っております。今、子供たちのいじめが問題になっておりますが、心を育てることの大切さを家庭で、学校で、地域で力を入れていかなくてはと願っております。

中山暁子

総会が無事終了。講演会は趣を変えて「歌声喫茶 更生保護の心を歌で伝えてみよう」。富塚ギタリスト・馨保護司・戸塚久美子前会長による絶妙なトークと、全員参加の歌声喫茶、とても楽しかったです。前役員の皆様、お疲れ様でした。新役員を仰せつかり、身の引きしまる思いです。よろしく申し上げます。

小澤悦子

駿府学園 誕生会にての授業

- ・子をしかと 抱いだきとめたる 母子像は 駿府学園の 守護神のごとし
- ・少年に 心の荒すさみし 時期(とき)ありて その母の思ひ いか(いかに)ありしや
- ・ボンボンの 折り方問ふ少年(こ)に 賢(か)げりなく 幼(よ)き残る 心のぞけり
- ・愛(あ)うすき かなしき罪(つ)もつ 子(こ)どもらと 言葉(ことば)少な(す)に 折(を)り紙(かみ)を折(を)る
- ・向(む)き合(あ)ひて 和(わ)な(な)し時(とき)の間 別(わか)れ時(とき)に お礼(れい)の(ことば)に 胸(むね)あつくする

塩澤歌子



平素の活動でご意見がございましたらお寄せください。学んでいきたいことなど何でも結構です。